

# 生活リハビリテーションセンターだより

## 研修会報告

令和7年度 堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業

### 第3回研修会「知っておきたい脳卒中のお話

### ～最新治療からその予防まで～

11月9日（日）堺市総合福祉会館において、第3回研修会「知っておきたい脳卒中のお話 ～最新治療からその予防まで～」を開催しました。

講師には、脳卒中専門医である京都橘大学 健康科学部 教授の大槻俊輔氏をお迎えしました。「4人に1人が発症する」という脳卒中のリスクをより身近に感じていただけるよう、対談形式で行いました。専門的な内容を噛み砕き、自分や家族の健康を考えるきっかけを提案しました。

前半では、脳の仕組みや脳卒中の種類、症状から病院への搬送、治療がどのように行われているかをわかりやすく解説していただきました。後半では、作業療法士の中岡と支援コーディネーターの西脇より、センターでの支援経験を基に情報提供を行いました。また、大槻氏からは治療後のリハビリテーションや予防、脳卒中ガイドライン2021（改定2025）の最新情報についてもお話いただきました。時間内で会場からのご質問にお答えができず、後日、当センターのホームページでの回答となりました。アンケートでは「発症から急性期の



京都橘大学 健康科学部 教授  
大槻俊輔氏

様子を詳しく聞く機会がなかったので救命救急のシステムについて学べた」、「ディスカッション形式で一つ一つ丁寧に解説され、わかりやすかった」、「顔・手足・言葉に異常が起きたらまずは119番。安心して医療機関に任せられることがわかった」など、多くの感想が寄せられました。

脳卒中の治療やリハビリテーションは日々発展しています。たとえ、脳卒中になったとしても、その人らしい生活が送れるよう引き続き取り組んでまいります。



聞き手（西脇）・講師（大槻氏）



聞き手（中岡）・進行（別府）



# sakai ARTcation2025

2025年10月23日～10月26日、sakai ARTcation（さかいアートケーション）2025が健康福祉プラザで開催されました。sakai ARTcationとは、堺市内に在住・在学・在勤の障害のある方が制作した芸術作品の公募展です。この展覧会は、障害のある方々の自由な表現を促進し、その作品が放つエネルギーを多くの人々に伝えることを目的としています。

当センターからも団体作品2点、個人作品1点を応募しました。クラフトプログラムの参加者チームは画用紙の花で作られたジャック・オ・ランタンの造形「トリック オア フラワー ～お花をくれなきゃイタズラするぞ～」を制作しました。また、アートケーション出展のために実施した月替わり特別プログラム参加者チームは、跳び箱を飛ぶうさぎ「壁を乗り越えろ!!」を制作し、それぞれ応募しました。また、個人で応募した利用者のちよみさんは、右片麻痺になってから初めて絵画に挑戦しました。左手で筆を使用することや、初めて使うアクリル絵の具に苦戦しながらも、時間をかけて作品を仕上げ、

見事、奨励賞を受賞されました。受賞作品は、堺市内の各区役所や堺市立文化館、大阪市立美術館にて巡回展示されました。sakai ARTcationは毎年開催されていますので、ご興味のある方はぜひご応募ください。



「トリック オア フラワー  
～お花をくれなきゃイタズラするぞ～」



絵画受賞 ちよみさん



「壁を乗り越えろ!!」

## 令和7年度 第2回学習懇談会

木々も紅葉し、爽やかな秋晴れとなった11月16日（日）、第2回学習懇談会を開催しました。今回は当事者様4名と、お子さんを含めたご家族6名が参加され、当事者様とお子さんは屋上庭園でモルックと座談会、ご家族は座談会という形で実施しました。

モルックは、フィンランド発祥のスポーツで、ほとんどの方が初体験でしたが、初めてとは思えないほどナイシヨットの連続に、大きな歓声が上がりました。空には堺の新しいシンボルとなった「おおさか堺バルーン」が浮かび、一層盛り上がりを見せました。その後、モルックの余韻を残しながら、「今、ハマっているこ

と」について談笑しました。

一方、ご家族の座談会では、親・夫・妻といったそれぞれの立場でお話していただきました。立場は違えど、日常生活の中での困りごとや対応の仕方など共感できる部分は多く、何度も大きく頷かれる場面がみられました。また、利用が終了したご家族のお話は、高次脳機能障害との付き合い方や先の見通しなど、現利用者のご家族だけでなく私たち職員にとっても参考になるお話が多く、貴重な交流の場となりました。今後もこのような機会を作っていきたいと思います。次回も皆さまのご参加をお待ちしております。



屋上庭園でモルックと座談会



座談会

## 月替わりプログラムのご紹介

### 『発声プログラム～音楽療法～』

水曜日は月替わりで様々なプログラムを行っています。12月は失語症の方を対象とした発声プログラムを実施しました。全4回のうち1回は、歌うことを通して、大きな声ではっきりと声を出すことを目的に、音楽療法士の先生をお招きしました。失語症の症状の1つとして、「言葉を思い出しにくい」ということがあります。そのため、話すことをためらったり、声が小さくなったりする方がいます。歌うことで、話すときに比べ、言葉がスムーズに出て来たり、言葉は出なくても、ハミングで音の高低を表現できたりと、



普段とは違った発声方法で大きな声を出すことができていました。参加された利用者様からは、「思っていたよりも、大きな声が出せました。」などの感想があり、普段の発声と比べ、改善点を実感してもらうことができました。

今回は歌唱により、ご自身の声量の増大や高低の出し方を感じることができました。この発声方法を普段のコミュニケーションにおいても活用し、ご自身の意図を伝えやすくなればと思います。今後も失語症の方に、様々なプログラムのご提案をさせていただきたいと考えています。

### 『電子レンジ調理』

当センターでは月に1回、調理訓練を実施しています。内容は参加者に合わせて検討しており、今回は電子レンジ調理を行いました。注意障害によって2つのことを同時に行うことが苦手になり、火を消し忘れるかもしれないので調理はできない、と諦めてしまう方が時々おられます。しかし、電子レンジ調理であれば、火を使わず安全に調理ができます。ただ、今まで電子レンジで調理をするという経験をしていなければ、新しく取り組むにはハードルが高いかもしれません。

調理訓練では料理のスキルを上げることが目的ではなく、どうすればまた調理ができるようになるかを一緒に考えて練習をしています。今回は一般的な家庭料理である肉じゃがと、鶏と白菜のクリーム煮を作りました。また、一度だけでは難しいこともあるので、複数回練習し、自宅に訪問して実際のキッチンでの練習も行いました。

今後も「料理がしたい」という気持ちに寄り添いながら、調理訓練を実施していきます。



## 全国障害者リハビリテーション研究集会 in 愛知

11月27、28日に全国障害者リハビリテーション研究集会in愛知「地域で暮らす」を支える自立訓練のあり方を考える～質が求められるこれからの時代に向けて～」が開催され、理学療法士の福尾と作業療法士の奥野がセンターの取組について発表を行いました。

この研究集会は、全国にある障害者自立訓練事業所が相互に連絡と親睦を図り、障害者のリハビリテーション等に関する調査、研究並びに情報交換を目的に毎年開催されています。



作業療法士 奥野



理学療法士 福尾

分科会として①自立訓練プログラムに関する取組、②機関、地域連携と相談支援、その他の取組、③就労支援に関する取組とそれぞれのテーマに合わせた発表が行われました。他の自立訓練事業所の発表を聞き、全国の事業所で実施されている様々な取組を知ることができました。

今後も他の自立訓練事業所と情報交換を行いながら、利用者様、ご家族にとって有益な訓練を提供できるように努めていきます。

## 高次脳機能障害者支援法成立

「高次脳機能障害は外形上判断しづらく、その特性の理解も進んでいない等の理由で、患者と家族は適切な支援を受けることができず、日常生活や社会生活に困難を抱えている」との指摘があります。このような現状を踏まえ、高次脳機能障害への理解を促進するとともに、高次脳機能障害者の自立及び社会参加のための生活全般にわたる支援を、どの地域でも、あらゆる段階（医療・リハビリ⇒生活支援⇒社会参加支援）で、切れめなく受けられるようにするため、令和7年12月16日に議員立法による「高次脳機能障害者支援法」が成立しました。この法律は、令和8年4月1日から施行予定です。

支援法において高次脳機能障害の定義が述べられていますが、これまでの「記憶障害・注意障害・遂行機能障害・社会的行動障害」に加え、「失語・失行・失認」が高次脳機能障害として明記されました。

堺市では近畿の他の政令市に先立ち2012年より高次脳機能障害支援拠点機関 生活リハビリテーションセンターが設置され、センターにおいて当事者・家族の支援や地域の関係機関とのネットワークづくりに取り組んでまいりました。これまでの経験をもとに、今後も高次脳機能障害者の支援に邁進してまいります。

## 堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター

〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号 堺市立健康福祉プラザ内 4F

TEL.072-275-5019 FAX.072-243-0202

■開館時間 9:00～17:30 ■休館日 土・日・祝日・年末年始(12/29～1/3)

<https://www.sakai-kfp.info/>

バックナンバーはこちらから⇒

